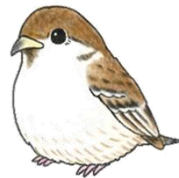


# 探鳥会スタッフ通信

2023年  
1月号



「探鳥会スタッフ通信」は、探鳥会の考え方や様々な運営手法について、全国の連携団体の探鳥会リーダーの皆様と情報交換を行うための通信です。

## 目次

- ◆詠んでたのしむ探鳥会（俳句探鳥会）  
    を実施しました 日本野鳥の会東京・・・1
- ◆普及室からのお知らせ
  - ・3月開催の初心者向けバードウォッチング  
    実施概要をお送りください・・・4
  - ・春期開催分の初心者向けバードウォッチング  
    実施概要を募集しています・・・4
  - ・ツバメの子育て応援事業について・・・4
  - ・探鳥会のリスクマネジメント研修のお知らせ  
    （2月オンライン開催）・・・5
- ◆探鳥会開催状況・・・・・・・・・・・6  
    （2022年11月分）
- ◆探鳥会保険集計結果・・・・・・・・・・・8  
    （2022年11月分）
- ◆今月の購読者数・・・・・・・・・・・10
- ◆探鳥会スタッフ通信の無料配信について・・・11
- ◆編集後記・・・・・・・・・・・11

## ◆詠んでたのしむ探鳥会（俳句探鳥会）を実施しました

はじめまして。日本野鳥の会東京の増田徹と申します。この度、俳句作りを楽しむことを目的とした探鳥会、「詠んでたのしむ探鳥会」（以下、俳句探鳥会）を企画・実施しました。探鳥会の概要や当日の様子をご報告いたします。

日程：2022年11月26日（土）10:00～15:00  
場所：東京港野鳥公園  
探鳥会形式：申込制探鳥会  
天候：雨のち曇り  
参加者：8名（定員10名だったがキャンセルが発生）  
リーダー：4名

### ■企画にあたっての背景■

私は常々、野鳥観察という趣味は他のアウトドア的な活動および芸術的な活動との親和性が高く、組合せにより様々な楽しみ方ができていると思っています。実際に、登山や旅行、車中泊、キャンプ、ツーリング、スケッチ、写真撮影など、思い付けば野鳥観察との”とりあわせ”を楽しんでおり、俳句もその一環です。フィールドノートに記録した俳句を読み返すと、鳥との出会いや思い出を思い起こすことが出来ます。そんな個人的な遊びを探鳥会に応用してみようと思い、企画しました。

俳句探鳥会を企画するにあたり、念頭に置いた点は以下の二点です。

- ①経験者だけでなく、野鳥および俳句の初心者の方にもそれぞれの楽しさを味わってもらうこと
- ②バードウォッチャーならではの句作を目指すこと

①についてはそのままですので、②について少し補足説明します。俳句には「季語」があり、季語には「本意」というものがあります。本意とは、季語が持つその季節らしさといったものでしょうか。私はお酒が好きなので年中ビールを飲みますが、「ビール」は夏の季語になっています。年中生産されるビールですが、一番美味しいのは夏で、これが本意です。この本意を理解し、活かすことが俳句では大切になります。

季語に取り上げられている野鳥がいくつかあり、春の鶯や秋の鴉などは季語に採用される意味がよく分かりますが、中には秋の啄木鳥や冬の鷹など、留鳥で正直あまり季節感を感じない鳥も季語になっていたります。生態的な季節感と、古来より俳人が見出してきた季節感には若干の誤差があるのです。バードウォッチャーは、日頃から野鳥をよく観察し

ているので、季語の持つ本意を大切にしながらも、生態的な野鳥の季節感をすり合わせた、よりリアルな俳句作りができる素地があると思っています。それらを踏まえ、「バードウォッチャーならではの句作」というのが1つのテーマだと考えています。

#### ■探鳥会の概要■

10時に東京港野鳥公園に集合し、挨拶のあと12時30分頃まで野鳥を探して公園内を散策しました。その後昼食を挟み、ネイチャーセンターの視聴覚室をお借りして13時～14時15分を句作や推敲の時間、14時15分～15時で作った俳句を1人ずつ発表しました。野鳥の観察中も俳句を考えるため、探鳥コースは短めに設定してゆっくり周り、鳥がいたら仕草をじっくり観察しました。視聴覚室の利用や発表時間の関係で参加人数を絞る必要があります。探鳥会形式は申込制としています。

私は自分で撮影した野鳥の写真を見返して、鳥を見た時の気持ちを思い出しながら俳句を作ることが多いです。探鳥会でもなるべく野鳥の写真を撮り、参加者の方のスマホに送信して写真を共有するようにしました。

通常、俳句の結社に入っている方が行っている「句会」というものは、各自数句提出し、筆跡で誰が作った俳句か分からないよう提出された俳句を別の紙に書き写した上で、順位付けをします。しかし、俳句探鳥会ではそのような形はとらず、各自一句を発表してもらい、その句に対して担当や参加者の方から感想を寄せてもらうようにしました。



歳時記を片手に野鳥の解説。この時はウグイスの笹鳴きが聞こえてきました。(笹鳴きは冬の季語)

当日の報告記事と共に、出来た句を当会の会報「ユリカモメ」に掲載する予定です。

#### ■当日の様子■

当日の予報は雨で、集合時間前から雨が降り始めました。参加者が減るのではとハラハラしましたが、事前にキャンセルの連絡があった方を除くと8名全員にご参加いただきました。聞くところによると雨の中でも句会は行われるので、俳句をする人にとって雨はそれ程苦ではないそうです。

参加者の方の傾向としては、俳句の経験はそれなりにあるが、野鳥は初心者という方が多い印象でした(中には俳句の経験がほとんどない方もいました)。そのため、野鳥の観察ではどんな鳥でも楽しんでいただけました。3号観察小屋ではマガモやジョウビタキやアオジが立て続けに登場したため盛り上がり、時間をかけて観察しました。解説では、歳時記を片手に季語を絡めて野鳥の解説をするというのも新鮮でした。ネイチャーセンターの窓にオオタカがぶつかり、地下の遊歩道で休んでいる様子をそっと観察することもできました。痛ましい様子を、皆さんそれぞれ思うところがあったようです。

俳句の発表の場面では、普段の句会ではとりあえず数句出せば勝手に評価してもらえるので、1句選ぶというのが逆に難しいという意見がありました。また、短冊に筆ペンで俳句と俳号(ペンネームのようなものです)をしたためてもらいました。私なりのユーモアのつもりでしたが、無駄な豪華さの中には緊張するという方もいました。



視聴覚室で句作り、俳句の発表をしました

### ■良かった点・改善点■

良かった点としては、前述のとおり野鳥の初心者が多かったため、どんな鳥をお見せしても喜んでもらえました。参加者の人数が8名（定員10名）に対して担当4名で手厚いフォローができたと同時に、少人数制なのでお互いの顔を覚えられ、終始和気あいあいとした雰囲気です。また、俳句の発表の時間を設けたことで、完全に受け身にならず、参加者の方に発言する機会があった点も満足度を上げられたのではないかと思います。

探鳥地の選定が少し難しかったのですが、水鳥・小鳥・猛禽等、色んな鳥がまんべんなく良く見られたこと、観察窓やトイレなど施設が充実していること、ネイチャーセンターの視聴覚室を利用させて貰えたことなど、東京港野鳥公園を利用できたのも良かったです。

改善点としては、お互いの顔が分かる一方で名前が分からなかったため、次回からは名札を用意しようと考えています。その際、おおよその俳句歴が分かるようにしておくこと、同じくらいの実力の人と話しやすかったり、上級者にアドバイスをもらうといった交流が生まれるかなと思いました。また、収支面では参加費が担当交通費で相殺され、利益がほぼありません。キャンセルが多いと赤字になる可能性があるため、何らかの改善・対策が必要と考えています。

### ■おわりに■

野鳥が好き・自然が好きという方に分け隔てなく広く門戸が開かれているところは、探鳥会の素晴らしい点だと思っています。一方で、少し属性を絞ることで、対象となる人は狭まりますが、参加者同士でより一体感の出る探鳥会になるのではないかと実感しました。当会で行っている、若手バードウォッチャー向けの Young 探鳥会も似たような取り組みでしょうか。

冒頭で記したとおり、野鳥観察の楽しみ方は、鳥を見つけて識別したり、写真を撮ることだけでなく、もっといろいろな楽しみ方のある自由なものだと思っています。切り口のひとつとして今回俳句探鳥会についてご紹介しましたが、別に俳句に限らなくても工夫をすれば様々な楽しみ方ができる特色のある探鳥会が実施できると思います。今回の報告記事が、魅力的な探鳥会の創出のヒントになれば嬉しく思いますし、一緒に野鳥の会の取り組みを盛り上げていきたいです。なお、俳句探鳥会はまだ1回目を終えたところですが、今後も季節を変えながら継続して開催していきたいと考えています。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

（日本野鳥の会東京 増田徹）

---

## ◆普及室からのお知らせ

---

### ■3月開催の「初心者向けバードウォッチング」実施概要をお送りください■

3月開催の「初心者向けバードウォッチング」の情報を追加募集します（ホームページ・メール広報のみ）。締め切りは、1月31日（火）となります。開催を予定される支部の皆さまは、実施概要をお送りください。

※詳細は、昨年6月に支部事務局宛にご送付しました、「初心者向けバードウォッチング 支部等連携団体向け手引き」をご確認ください。

### ■春期開催分「初心者向けバードウォッチング」実施概要を募集しています■

2023年度「初心者向けバードウォッチング」の春期（4～6月）開催分の実施概要を募集中です。締め切り日は広報の種類によって異なりますので、ご注意ください。

#### ①パンフレットへの掲載を希望される場合

4～6月開催分全て：1月31日（火）

#### ②ホームページ・メールでの広報のみを希望される場合

4月開催分 2月28日（火）

5月開催分 3月31日（金）

6月開催分 4月30日（日）

※詳細は、「探鳥会スタッフ通信 2022年12月号」3ページをご確認ください。

<https://www.wbsj.org/info/shibu/tancho/staff202212.pdf>

### ■ツバメの子育て応援事業について■

財団では、地域でツバメの巣を落とさずに見守っている団体（企業、施設など）を支部等連携団体（以下、支部）に推薦していただき、それらの団体に感謝状を贈呈する事業を行っています。おかげさまで、2022年度は、11支部にご協力をいただき、計15の団体に感謝状を贈呈することができました。

2023年度も引き続き、本事業を継続していきたいと思っております。

詳細につきましては、「ツバメの子育て応援事業へのご参加のお願い」をメールにて全国の支部の皆さまへお送りいたします。

ご参加いただける場合は、3月12日（日）までに普及室へ「参加」のご連絡をください。

ぜひ多くの支部のご協力をいただければ幸いです。

## ■探鳥会のリスクマネジメント研修のお知らせ（2月オンライン開催）■

普及室では、2020年度から探鳥会のリスクマネジメント研修をオンラインで開講してきました。リスクマネジメントは、これからの時代の野外活動では必須の研修です。その考え方を知っているか知らないかで、探鳥会の安全性が変わってきます。特に初心者向けバードウォッチングに力を入れていきたい支部の皆様、リスクマネジメントの浸透を図っていきたいと考えていらっしゃる支部の皆様、ぜひご参加ください。

以下の要項をお読みいただき、ご参加いただける方は2月15日(水)までにお申込みください。

【タイトル】探鳥会のリスクマネジメント研修<基礎編>（講義/ワークショップ）

【実施日】2023年2月19日（日）15時～17時30分

【内 容】前半の講義では、リスクマネジメントの基本的な考え方についてわかりやすく解説し、後半のワークショップでは実際の探鳥会の実施風景の写真を使った、危険予知トレーニングを実施します。

【定 員】定員10名

【参加費】無料

【申し込み】件名に「リスクマネジメント研修申し込み」と明記の上、①お名前 ②支部名 ③メールアドレス④電話番号を明記の上、2月15日(水)までに<tancho-staff@wbsj.org>あてにお送りください。

【受講環境】①受講には、インターネットに接続する環境が必要です。zoomを使用します。

②お使いのパソコンに、スピーカー、マイク、webカメラの設備が備わっているかご確認ください。

③スマホ画面ではワークショップへの参加は困難なため、パソコンで受講してください。

【進 行】15:00 オープニング

15:10 講義

16:00 質疑応答

16:10 ワークショップ

17:10 質疑応答

17:30 終了

## ◆探鳥会開催状況（2022年11月分）

2022年11月は、68支部が266回の探鳥会を開催しました（開催回数には下見や中止、調査の回数は含みません）。（普及室）

支部	開催回数 (回)	参加者数		スタッフ数 (人)	合計人数 (人)
		会員(人)	一般(人)		
オホーツク支部	1	17	2	1	20
根室支部	-	-	-	-	-
釧路支部	2	12	15	3	30
十勝支部	-	-	-	-	-
旭川支部	-	-	-	-	-
滝川支部	1	11	0	2	13
道北支部	-	-	-	-	-
江別支部	-	-	-	-	-
札幌支部	1	49	0	5	54
小樽支部	2	5	3	2	10
苫小牧支部	1	0	22	4	26
室蘭支部	1	8	2	1	11
道南桧山	2	10	8	5	23
青森県支部	-	-	-	-	-
弘前支部	2	15	0	2	17
秋田県支部	4	34	9	5	48
山形県支部	5	44	11	7	62
宮古支部	-	-	-	-	-
もりおか	1	12	3	5	20
北上支部	1	4	4	2	10
宮城県支部	4	57	12	13	82
ふくしま	2	32	0	4	36
郡山支部	2	30	0	5	35
白河支部	1	3	0	1	4
会津支部	2	10	0	2	12
奥会津連合	-	-	-	-	-
いわき支部	1	13	9	4	26
福島県相双支部	-	-	-	-	-
南相馬	0	0	0	0	0
茨城県	10	71	65	13	149
栃木県支部	11	212	49	51	312
群馬	13	202	35	48	285
吾妻	4	19	33	6	58
埼玉	9	162	3	50	215
千葉県	9	91	27	33	151
東京	12	208	91	58	357
奥多摩支部	7	97	30	23	150
神奈川支部	11	142	56	33	231
新潟県	3	30	35	11	76
佐渡支部	-	-	-	-	-

富山	2	46	17	4	67
石川	3	38	19	7	64
福井県	2	10	27	10	47
長野支部	2	39	3	4	46
軽井沢支部	0	0	0	0	0
諏訪支部	-	-	-	-	-
木曾支部	-	-	-	-	-
伊那谷支部	1	5	15	2	22
甲府支部	1	23	9	2	34
富士山麓支部	1	4	2	2	8
東富士	-	-	-	-	-
沼津支部	1	22	7	2	31
南富士支部	2	20	1	3	24
南伊豆	1	7	1	2	10
静岡支部	1	23	3	3	29
遠江支部	2	44	4	8	56
愛知県支部	15	192	35	56	283
岐阜	5	44	8	9	61
三重	3	33	13	6	52
奈良支部	3	95	0	6	101
和歌山県支部	-	-	-	-	-
滋賀	6	36	69	13	118
京都支部	5	81	15	23	119
大阪支部	17	245	118	72	435
ひょうご	3	26	59	21	106
鳥取県支部	3	21	5	3	29
島根県支部	3	42	31	3	76
岡山県支部	4	114	36	14	164
広島県支部	7	50	85	32	167
山口県支部	1	16	2	1	19
香川県支部	2	31	5	2	38
徳島県支部	7	123	19	7	149
高知支部	1	5	13	1	19
愛媛	3	38	16	6	60
北九州支部	3	35	2	3	40
福岡支部	8	139	37	20	196
筑豊支部	2	22	2	3	27
筑後支部	4	32	7	8	47
佐賀県支部	4	59	1	5	65
長崎県支部	4	35	16	10	61
熊本県支部	3	44	37	3	84
大分県支部	2	45	6	7	58
宮崎県支部	2	21	10	2	33
かごしま県支部	2	31	0	5	36
やんばる支部	-	-	-	-	-
西表支部	-	-	-	-	-
合計	266	3,536	1,279	789	5,604
備考：-	は保険の申請がなかったことを示しています。				

## ◆探鳥会保険集計結果（2022年11月分）※中止と下見、調査を含む

11月は70支部からご報告をいただき、68支部で計309回の探鳥会と調査が開催され、のべ5,705人が参加されました。（探鳥会の開催回数には中止や下見の回数も含まれます。人数は参加者数とスタッフ数の合計で、中止の際の当日対応も含まれます。）

表2. 11月の探鳥会保険集計結果

支部	探鳥会		調査		合計	
	開催回数	人数	開催回数	人数	開催回数	人数
オホーツク支部	1	20	0	0	1	20
根室支部	-	-	-	-	-	-
釧路支部	2	30	0	0	2	30
十勝支部	-	-	-	-	-	-
旭川支部	-	-	-	-	-	-
滝川支部	1	13	0	0	1	13
道北支部	-	-	-	-	-	-
江別支部	-	-	-	-	-	-
札幌支部	2	57	0	0	2	57
小樽支部	2	10	0	0	2	10
苫小牧支部	1	26	0	0	1	26
室蘭支部	1	11	0	0	1	11
道南桧山	2	23	0	0	2	23
青森県支部	-	-	-	-	-	-
弘前支部	2	17	0	0	2	17
秋田県支部	4	48	0	0	4	48
山形県支部	5	62	0	0	5	62
宮古支部	-	-	-	-	-	-
もりおか	1	20	0	0	1	20
北上支部	2	12	0	0	2	12
宮城県支部	8	89	1	7	9	96
ふくしま	2	36	0	0	2	36
郡山支部	2	35	0	0	2	35
白河支部	1	4	0	0	1	4
会津支部	2	12	0	0	2	12
奥会津連合	-	-	-	-	-	-
いわき支部	1	26	0	0	1	26
福島県相双支部	-	-	-	-	-	-
南相馬	0	0	0	0	0	0
茨城県	10	149	0	0	10	149
栃木県支部	11	312	0	0	11	312
群馬	13	285	0	0	13	285
吾妻	4	58	0	0	4	58
埼玉	23	253	0	0	23	253
千葉県	9	151	0	0	9	151
東京	13	358	0	0	13	358
奥多摩支部	7	150	0	0	7	150
神奈川支部	11	231	0	0	11	231
新潟県	3	76	0	0	3	76
佐渡支部	-	-	-	-	-	-



富山	2	67	0	0	2	67
石川	3	64	0	0	3	64
福井県	2	47	0	0	2	47
長野支部	2	46	0	0	2	46
軽井沢支部	0	0	0	0	0	0
諏訪支部	-	-	-	-	-	-
木曾支部	-	-	-	-	-	-
伊那谷支部	1	22	0	0	1	22
甲府支部	1	34	0	0	1	34
富士山麓支部	1	8	0	0	1	8
東富士	-	-	-	-	-	-
沼津支部	1	31	0	0	1	31
南富士支部	2	24	0	0	2	24
南伊豆	1	10	0	0	1	10
静岡支部	1	29	0	0	1	29
遠江支部	2	56	9	17	11	73
愛知県支部	15	283	0	0	15	283
岐阜	5	61	0	0	5	61
三重	3	52	0	0	3	52
奈良支部	3	101	0	0	3	101
和歌山県支部	-	-	-	-	-	-
滋賀	8	122	0	0	8	122
京都支部	5	119	0	0	5	119
大阪支部	17	435	0	0	17	435
ひょうご	3	106	0	0	3	106
鳥取県支部	3	29	0	0	3	29
島根県支部	3	76	0	0	3	76
岡山県支部	4	164	1	7	5	171
広島県支部	9	169	0	0	9	169
山口県支部	1	19	0	0	1	19
香川県支部	2	38	0	0	2	38
徳島県支部	7	149	0	0	7	149
高知支部	2	20	0	0	2	20
愛媛	4	61	1	5	5	66
北九州支部	3	40	0	0	3	40
福岡支部	8	196	0	0	8	196
筑豊支部	2	27	0	0	2	27
筑後支部	4	47	0	0	4	47
佐賀県支部	4	65	0	0	4	65
長崎県支部	7	64	0	0	7	64
熊本県支部	3	84	0	0	3	84
大分県支部	2	58	0	0	2	58
宮崎県支部	2	33	0	0	2	33
かごしま県支部	3	39	0	0	3	39
やんばる支部	-	-	-	-	-	-
西表支部	-	-	-	-	-	-
全国	297	5,669	12	36	309	5,705

備考：-は保険の申請がなかったことを示しています。（普及室）

## ◆今月の購読者数

探鳥会スタッフ通信 1 月号の電子メール版の購読者数は、894 名です。  
各支部の購読者数は、「財団からの配信者数」と「支部からの転送による配信者数」の合計です。

表 3. 探鳥会スタッフ通信 1 月号電子メール版の購読者数

支部	購読者数	支部	購読者数
オホーツク支部	7	軽井沢支部	1
根室支部	2	諏訪	6
釧路支部	4	木曾支部	1
十勝支部	1	伊那谷支部	1
旭川支部	3	甲府支部	4
滝川支部	1	富士山麓支部	0
道北支部	2	東富士	0
江別支部	0	沼津支部	3
札幌支部	6	南富士支部	3
小樽支部	3	南伊豆	2
苫小牧支部	3	静岡支部	2
室蘭支部	4	遠江	11
道南桧山	2	愛知県支部	46
青森県支部	1	岐阜	7
弘前支部	4	三重	19
秋田県支部	4	奈良支部	6
山形県支部	4	和歌山県支部	5
宮古支部	1	滋賀	20
もりおか	4	京都支部	33
北上支部	2	大阪支部	29
宮城県支部	39	ひょうご	20
ふくしま	6	鳥取県支部	10
郡山支部	1	島根県支部	13
白河支部	2	岡山県支部	28
会津支部	2	広島県支部	8
奥会津連合	0	山口県支部	19
いわき支部	1	香川県支部	7
福島県相双支部	0	徳島県支部	6
南相馬	4	高知支部	1
茨城県	22	愛媛	16
栃木県支部	60	北九州	11
群馬	24	福岡支部	12
吾妻	1	筑豊支部	23
埼玉	38	筑後支部	6
千葉県	26	佐賀県支部	5
東京	68	長崎県支部	3
奥多摩支部	49	熊本県支部	13
神奈川支部	27	大分県支部	4
新潟県	2	宮崎県支部	6
佐渡支部	1	かごしま県支部	4
富山	3	やんばる支部	0
石川	30	西表支部	1
福井県	12	合計	894
長野支部	3		

(普及室)

---

## ◆探鳥会スタッフ通信（電子メール版）の無料配信について

---

探鳥会スタッフ通信は、支部の探鳥会スタッフ  
ならどなたでも受信できます。（無料です）

ご希望の方は、「探鳥会スタッフ通信希望」と  
明記のうえ、①支部名 ②担当している探鳥会名  
③お名前 ④ご住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス  
（パソコンやスマートフォンのアドレス）を

記入し、[tancho-staff@wbsj.org](mailto:tancho-staff@wbsj.org) へお申し込み  
ください。バックナンバーとともにメール版を  
送信いたします。

配信を希望されない、メールアドレスの変更な  
どについても、[tancho-staff@wbsj.org](mailto:tancho-staff@wbsj.org) までお  
知らせください。

---

## ★編集後記

---

今回から編集を担当することになりました。日本野鳥の会普及室の阿比留と申します。

新年初めの探鳥会はいかがでしたか。木々の葉も落ちて鳥たちを見つけやすい時期ですね。

先日、今年初めての多摩川でジョウビタキやモズを見てきました。

まだまだ寒さ厳しい日が続きますが、体調管理をしっかりとしながら楽しみましょう。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

（普及室／阿比留あやの）

---

日本野鳥の会

探鳥会スタッフ通信 第118号

◆発行

（公財）日本野鳥の会 2023年1月17日

◆担当

普及室 普及教育グループ

〒141-0031

東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

TEL：03-5436-2622

FAX：03-5436-2635

E-mail：[tancho-staff@wbsj.org](mailto:tancho-staff@wbsj.org)

---